

倉吉市 可燃ごみ処理手数料の改定及び新サイズの指定ごみ袋導入に関するパブリックコメントの結果について

このたび、倉吉市の可燃ごみ処理手数料の改定にあたり、広く市民の皆さまからご意見を伺うために実施したパブリックコメントの結果を公表します。

1. パブリックコメントの結果について

(1) 意見募集の概要

- ・募集期間 令和8年2月9日(月) ~ 令和8年3月10日(火)
- ・募集方法 持参、郵送、ファックス、電子メールにより提出、閲覧場所の意見募集箱に投函
 - ※ 資料は市公式サイトに掲載のほか、紙媒体の資料を市役所各庁舎、図書館、エキパル行政サービスコーナー、各地区コミュニティセンターに配架
- ・募集テーマ
 - ・可燃ごみ処理手数料の改定について
 - ・新サイズの指定ごみ袋の導入について
- ・応募数 31名(持参:2名、応募箱:26名、メール:2名、ファックス:1名)

2. パブリックコメントの内容と意見に対する市の考え方

- ※ ご意見は、内容の趣旨を変えない範囲で要約し、誤字等も一部修正しております。また、類似しているご意見を集約させていただき、まとめて公表する形式にしております。
- ※ 今回の募集テーマに該当しないご意見、パブリックコメントの趣旨に適合しないご意見、また個人的な内容を含む部分につきましては、公表を差し控えさせていただきました。

1 可燃ごみ処理手数料の改定について

いただいた主なご意見(概要)	市の考え方
<p>【可燃ごみ処理手数料の改定について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価の高騰等、仕方のないことだと思います。 ・料金が上がるのは、消費者(排出者)としては、理解できます。 ・基本的には賛成です。諸物価、人件費等の上昇へ対応するためにはやむを得ない。 	<p>可燃ごみ処理手数料の改定についてご理解をいただきありがとうございます。</p> <p>近年、指定ごみ袋の有料化による排出抑制効果が弱まり、ごみ排出量が増加しています。さらに、ごみ処理施設では人件費や物価の高騰、設備の維持管理費の増加によりごみ処理経費が急増しており、今後も高騰が見込まれます。</p> <p>こうした状況に加え、ごみ排出量に応じて負担するという公平性の観点からも、指定ごみ袋料金の見直しが必要であると判断しました。引き続き、分かりやすい情報提供に努めてまいります。</p>
<p>【料金改定そのものには賛成だが、説明の明確化を】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出量増加と料金見直しの関係が分かりにくい。 ・受益者負担率などの根拠を明確に示すべき。 ・ごみ処理費用の上昇要因(人件費・燃料費・設備費等)の具体的な数値の提示を。 	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>排出量増加と料金見直しの関係、受益者負担率の考え方、処理費用の上昇要因については説明資料に記載のとおりですが、今後もより分かりやすい説明に努めてまいります。</p>
<p>【料金の値上げについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大袋で 24 円上がるのは高い印象 一気に上げすぎ。 ・中小袋は納得だが、大袋は高すぎる。 ・年金生活では大変」「31 円→55 円は高すぎる。 ・家族人数が多い世帯ほど負担が重い。 	<p>大袋の値上げ幅が大きいとのご意見や、世帯構成によって負担が重くなるとのご指摘は重く受け止めています。今回の料金改定は、主にごみ処理経費の増加や受益者負担の適正化を踏まえて設定させていただいたものです。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>
<p>【不法投棄について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料金の値上げにより不法投棄が増えるのでは。 	<p>不法投棄の懸念は市としても重要と考えています。料金改定後も引き続き啓発を行い、不法投棄の防止に取り組んでまいります。</p>
<p>【ごみ減量・リサイクル対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量の働きかけが不足している。 	<p>ごみ減量の取組については、ごみ分別の徹底の周知に加え、再生資源の適切な分別・排出の促進など、減量とリサイクルの両面で取り組んでまいります。</p>

2 新サイズのごみ袋の導入について

いただいた主なご意見(概要)	市の考え方
<p>【新サイズの小袋の導入について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大・中・小と分けるのは無駄がなくてよい。 ・現行の小袋では大きすぎることもあるので、さらに小さい小袋があると助かる。 ・独居なのでありがたい。 	<p>新サイズの小袋の導入についてご理解をいただきありがとうございます。</p> <p>市では、世帯構成の変化や排出量の実態を踏まえ、より使いやすい袋サイズを選択できることが重要と考えています。</p> <p>特に、独居・少人数世帯からは「中袋では大きすぎる」という声が寄せられており、生活実態に合ったサイズとして小袋の導入は有効であると考えております。</p>
<p>【夏場の生ごみ対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場は生ごみが臭うので、小袋で週 2 回出せると良い。 ・虫の発生防止にもつながる。 	<p>夏場の生ごみの臭いや虫の発生は一般的に課題となるため、新サイズの小袋を導入することで排出頻度を調整しやすくなり、衛生面の改善が期待できると考えております。</p>
<p>【プラスチックごみ分別開始後に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみ分別が始まれば生ごみ量が減るので小袋が必要になる。 	<p>プラスチックごみ分別の開始により可燃ごみの量は減少する見込みであり、その結果として従来の中袋では大きすぎるケースが増えることが想定されるため、小袋の導入は合理的であると考えております。</p>
<p>【新サイズの小袋の需要について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小袋を必要としている人がどれくらいいるのかわからない。 	<p>独居・少人数世帯からは「中袋では大きすぎる」という声が寄せられており、生活実態に合ったサイズとして小袋の導入は有効と考えております。</p>
<p>【ごみ袋のサイズについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大・中・小・極小の 4 種にしてはどうか。 ・30L が欲しい。 	<p>ごみ袋のサイズについては、利用実態などを総合的に検討した結果、現行案のサイズ構成が最も適切であると考えております。</p>
<p>【新サイズの小袋は必要ないことについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要ないと思う。 ・新サイズのごみ袋導入は必要ない。 	<p>市としては、世帯構成の変化やプラスチック分別開始後の可燃ごみ減少、さらには夏場の生ごみの臭いや虫の発生といった衛生面の課題を踏まえ、新サイズの導入が必要であると考えております。ご理解くださいますようお願いいたします。</p>